

山形中央会 担い手向けに

支援センター始動

【山形】JA山形中央会地域・担い手サポートセンターの辞令交付式が28日、山形市であった。辞令は10月1日付。

センターは、11月の第27回JA県大会や今後策定する2016年度以降目標の次期JAグループ山形長期農業振興戦略を見据え、実践と目標実現に向け、県域組織の連携を強化するのが狙い。山形中央会の他、JA全農山形、JA共済連山形、農林中金山形支店からの出向職員ら10人で構成する。

担い手支援に関するJAの方針や要員確保・配置計画の策定支援、営農

指導員資格認証制度見直しを踏まえた研修体系の整備など、各JAの営農

担い手支援の取り組みについて、県域組織を挙げて後方で一体的に支援する。JAからの要請に応

じて支援・補完する業務を担う。

JAからの出向、営農指導員や県の経営普及指導員OBの雇用、税理士や社会保険労務士の活用も今後検討する。中央会農業農政部の農業振興推進室は廃止される。